

2016 年度・親と子の都市と建築講座（創立 130 周年記念事業連動企画）

「建築から考える災害への備えと体感的学習」

主催： 日本建築学会 東海支部 構造委員会

後援： 名城大学自然災害リスク軽減研究センター（NDRR）

日時： 2016 年 7 月 31 日（日） 13:00～16:00

会場： 名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ K-181（構造耐震実験室）ほか

主旨：

東海地方には南海トラフ巨大地震や岐阜断層帯を始めとする地震、関連する津波や台風による風水害など、備えておくべき自然災害は多い。本講座では、日本建築学会の創立 130 周年記念事業連動企画として、地域を担う次世代の小中高年生とその親の皆さんを対象に、学び・体感し・理解して備えるための企画を実施します。

具体的には、0) 過去の震災や風水害を知る、1) 直下型地震を実際に体感する、2) 水害時の緊急避難用の組立式ボートの作成、3) 木造住宅の骨組みの大地震時の再現実験の観察、等を行う予定です。

当日は、家具の耐震対策や災害時非常食等の展示コーナーも併設する予定です。

プログラム

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------|
| ・ 主旨説明 | 武藤 厚（A I J 東海支部・構造委員会・委員長、名城大学） | 13:00～ |
| ・ 地震災害のレクチャと直下型地震の体験（並行） | 高橋広人、大塚貴弘（A I J 東海支部・構造委員会・幹事、名城大学） | 13:10～ |
| ・ 水害時緊急避難用ボートの組立と応急シェルターの作成 | 阿竹克人（株式会社 阿竹研究所） | 14:00～ |
| ・ 1995 年兵庫県南部地震時の在来木造戸建住宅の再現実験の見学 | 武藤 厚（前出） | 15:50～ |
| ・ まとめ | | 15:55～ |

定 員：20 組

対 象：小学生（高学年以上）とその保護者

参加費：無料

申込方法：「親と子（構造）」のタイトルで、7 月 1 0 日までに下記へメールで申込

申込先・問合せ：ohtsuka@meijo-u.ac.jp（名城大学・大塚）
